

「風流はんや舞」(県指定無形民俗文化財)

- 1 開催日：平成29年9月17日(日)
- 2 時間：10時00分～12時15分
- 3 開催場所：福岡県八女市星野村 麻生神社境内
※雨天の場合は、星野村総合保健福祉センター「そよかぜ」
- 4 観覧料：無料
- 5 交通アクセス：JR羽犬塚駅より堀川バスで約1時間20分 池の山前下車
九州自動車道八女ICから車で50分
- 6 連絡先：星野支所総務課 総務管理係
☎0943-52-3112
- 7 概要

「風流はんや舞」は、八女市星野村の麻生神社に奉納される芸能で、風流(打楽)と扇舞とから構成されます。「風流」は僧装束で、唐団扇を持った新発意のリードで、“しゃぐま”をかぶった大太鼓打ちが、連やチンカン坊主という子役を伴い登場し、囃子方の笛に合わせて演じられます。

「はんや舞」は、袴を着け扇を持った20人ほどの舞手達が、歌の初めや拍子に「はんや」の言葉を伴う歌を唄い扇を開いたり閉じたりして舞います。歌詞は42番ほどあり、「閑吟集」や「隆達小歌」など室町時代から江戸初期の小歌集から採られています。横廻り、中通り、上郷、下郷の星野村4地域からそれぞれ風流とはんや舞を演じます。

「はんや舞」の奉納起源は、「筑後星野御池社記」に貞応元年(1222)猫尾城主・黒木氏が、国家安全と風雨無難を祈って舞楽と風流の神事をなした、とあるのが初見です。「はんや舞」は、中世の名残をとどめる民俗芸能として福岡県無形民俗文化財に指定されています。

